

森林保険センターのお知らせ

森林保険

～山火事への備え～

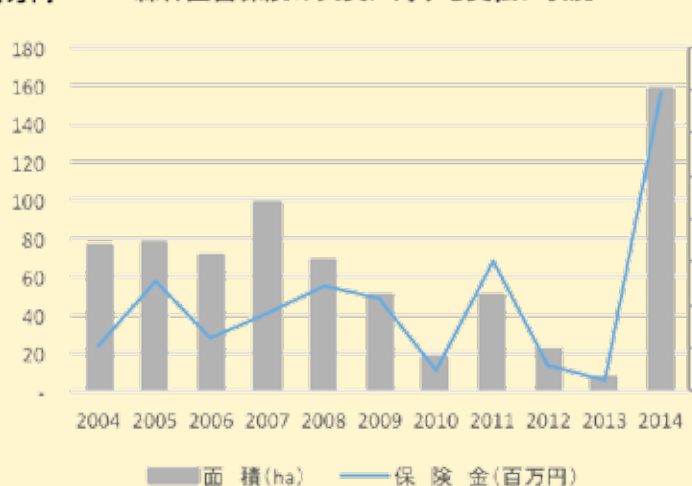
現在、森林保険は、火災、気象災、噴火災を対象にする総合保険として運営していますが、制度が発足した昭和12年から36年までは森林火災国営保険として山火事のみを対象としていました。山火事は、林業経営にとって大きな脅威であり保険はその備えとして求められてきました。

また、山火事は、気象災、噴火災といった自然災害と異なり、人為的に発生する要素が高い災害です。主な出火原因は、たき火、火入れ、放火などとなっています。近年は、林業活動による入山が以前より少ないこと等により山火事の発生件数も少なくなっています。しかしながら、近年においても群馬県桐生市のように大規模な山火事が発生する事例が見られ、森林保険の大切さが再確認されています。一度火災が発生すれば被害面積が大きくなることも山火事への備えが重要な理由です。大切な資産を守るためにも是非、森林保険にご加入ください。

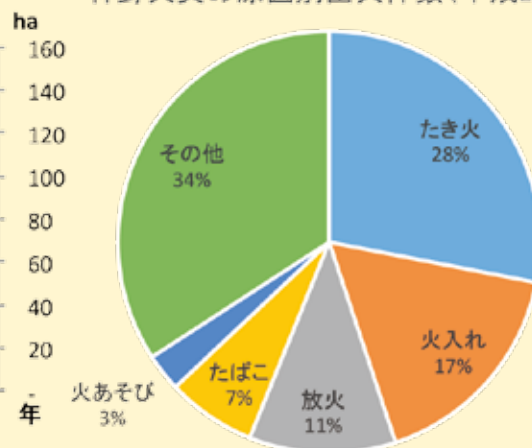
森林保険センターホームページ

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/fic/>

百万円 森林国営保険の火災に対する支払い状況



林野火災の原因別出火件数(平成25年)



出典:総務省消防庁「平成25年 林野火災の主な出火原因と経過」

～群馬県桐生市の事例～

(桐生市では、市有林(851ha)のうち、約300haの人工林について森林保険に加入)

○平成26年4月 大規模な山火事発生
(市有林143ha焼失)



○5月 被災調査実施



○12月 森林保険による受取金：約1億1千万円



災害による損失を森林保険で補てんし、
将来予定していた収入を確保

○桐生市では森林保険の重要性を再認識！
市有林の保険加入を一層拡大されました。



【山火事の様子】



【山火事後の様子】

台風、山火事
などの災害に
よる森林の損
害に備え、森
林保険にご加
入ください。



イメージキャラクター
マモルくん